

～選ばれる職種めざし賃金労働条件の改善を～

京都医労連第103回定期大会を開催！！

9月13日（土）、ラポール京都2階大ホールにて、第103回定期大会を開催しました。

大会では、総人件費引き下げを許さず、持続的な賃上げと賃金底上げ、有害な夜勤規制と大幅増員、働くルールの確立、医療・介護提供体制の縮小・削減STOP、いのちと平和守る社会、いのちが大切にされる京都府政を実現し、労働組合を強く大きくする方針と体制を決定しました。

勝野委員長が「人材流出を加速する賃金水準を改善させ、戦後80年『ふたたび白衣を戦場の血で汚さない』その誓いを胸に医療と共存しないあらゆる争いをなくそう」とあいさつ。来賓のあいさつの後、5月に組合結成した

「HITOMI  ユニオン」の組合旗と印鑑の贈呈式を行い、みんなで結成を祝いました。坂田書記長から「25春闘の奮闘を共有し、今秋闘から大幅賃上げを阻んでいる診療・介護報酬10%引き上げの世論を拡げ、夜勤規制と大幅増員をすすめよう」と1年間の総括の報告と今後の方針を提案しました。

討論では、一方的に導入された新人事制度の撤回に奮闘する**桂労組**、経営難の下でもあきらめず要求を出し続ける**太秦労組**、手

術手当の減額等を契機に組合結成を決意した**HITOMI  ユニオン**、看護師夜勤体制の変更に奮闘する**第二日赤労組**、現場の経験を通じた**職場でのハラスメント対策の構築**、「選ばれる職業」していくためには**労働組合が不可欠**、賃金だけでなく、患者・利用者の安全、十分なケアを守るための**離職STOPの報酬改定**、約40年近く協力・協同のもと信頼関係を築き、京都の医療機関・介護施設の声を行政に届け続けている**キャラバン行動への共感**、医療・介護現場の職業病である腰痛対策を学んだ「**ノーリフトケアセミナー**」、次世代育成としての**青年部への各加盟組織からの結集の重要性**、組合の大切さを実感した**組合のない職場で働く組合員の発言等**、これらの報告と熱心な議論を通じ、すべての議案が全会一致で採択されました。

定期大会後、西院にて

「いのちまもるキャラバンスタート宣伝行動」を実施

